

あわ文化学習

10月21日に徳島県中学校「総合的な学習の時間」教育研究大会が行われました。今号では、この日に向けてフューチャータイムで行ってきた「あわ文化学習」について紹介したいと思います。

【あわ文化について学ぼう】

「阿波おどり」「阿波藍」「板東俘虜収容所と第九」「四国遍路とお接待」「阿波人形浄瑠璃」「天然記念物」について、1学年の先生方から説明がありました。徳島にはさまざまな文化があることを知りました。これらの文化が、現在まで伝えられ、残ってきていることには何か理由があるはずだということで、さらにこれらの文化が「なぜあわ文化として根付いてきたか」について調べていくことにしました。



【あわ文化について調べよう】

「阿波おどり」「阿波藍」「板東俘虜収容所と第九」「四国遍路とお接待」「阿波人形浄瑠璃」「天然記念物（植物）」「天然記念物（動物）」「天然記念物（地質）」の8つの班に分かれて調べ学習を行いました。班でその文化の歴史や特徴などを調べ、その文化が「なぜあわ文化として根付いてきたか」を考え、その考えと根拠をパワーポイントにまとめました。



【あわ文化について発表しよう】

それぞれの班が調べ、考えたことをお互いに発表しました。自分たちが調べた文化との共通点を探しながら、発表を聞きました。共通点を探すのが難しい文化もありましたが、生徒たちはすべての文化との共通点を見つけることができました。共通点を探していくことで、「人」や「守る」というキーワードがたくさん出てくることに気づきました。あわ文化が根付いてきたのは、徳島の環境や徳島に住んでいる人々の思いがあったからだということがわかりました。



【生徒の感想】 ※すばらしい感想がたくさんあったので、裏面にも紹介しています

- ・共通点探しは難しいなと思ったけど、意外とたくさんあり、徳島だからこそ生まれた文化がたくさんあるんだなと学ぶことができました。共通点も支えや協力、自然が豊かなど徳島の環境や人々が関係していることがたくさんあり、あわ文化はそこから発展しているんだなと思いました。
- ・共通点を探したときに、意外にもすべての班がつながったことは「徳島県の人々」というワードでした。これを知ったとき、「だからこれらの文化が徳島県に根付いてきたんだな」と思いました。そして、やっぱり、徳島の人たちは文化を大切に残していこうという思いがあるととても優しい人たちなんだと思いました。

FMとくしま 出張校内放送

10月6日にFMとくしまが県立川島中学校にやってきました。FMとくしまの土橋琢史さんと、「うえみつ」コンビ（上田先生・三橋先生）による校内ラジオ放送が行われました。サプライズで行ったので、生徒たちはとても驚きながらも、給食を食べながら楽しいラジオ時間を過ごすことができました。



北部Bブロック新人大会、吉野川市駅伝大会

10月1・2・8・9日に北部Bブロック新人大会、10月27日に吉野川市駅伝大会が行われました。部活動や陸上の朝練で頑張ってきた成果を出し、大会に臨むことができました。これから3年生での総体や駅伝大会に向けた2年間、練習やさまざまな大会を通して、成長した姿を見せていってほしいです。

・いろんな工夫や努力, 徳島だったからこそ発展した物があってあわ文化は根付いていったんだなと思いました。どんどん掘り下げていくと, 知らなかったことや分からない言葉の意味も知ることができておもしろかったし, 楽しかったです。

・私は阿波藍について調べました。阿波藍は吉野川の地形や徳島藩の保護政策がなければ徳島に根付いてこなかったことを学びました。このような調べ学習を班でしたことはあったけれど, 前の班活動でうまくいかなかったことなどを生かしてできたのかなと思います。今回の班でもうまくいかなかったところはあるので次に生かすことができたらいいなと思いました。

・私は板東俘虜収容所と第九について調べました。昔の歴史や板東俘虜収容所内の活動についてなどを学びました。そんな中で考えたことは第九の歌詞です。「alle Menschen werden Brüder (アル メンシェン ウェルデッン ブリューデル) = すべての人々は兄弟になる」この歌詞について, 世界中の人々が平和に兄弟のように仲良くすごせたらいいなという意味があると考えました。

・私は「あわ文化」の調べ学習をして「あわ文化」についてもっと興味をもちました。四国遍路のことについて調べていると, 徳島や徳島の人々だからこそできたこともあり, すごいと思いました。今回は四国遍路について調べたけれど, 他の「あわ文化」についても自分で調べてみようと思います。

・僕は今回天然記念物を調べて, 天然記念物に指定される条件やなぜ天然記念物の動物がたくさんいるかななどの理由が知れてよかったです。天然記念物(動物)がどうして根付いたかを調べて, 自分たちの住んでいるところの「自然が豊か」「徳島の人たちが動物などを守る活動」をしていることを知り, 自分たちの住む徳島にほこりをもてました。

・僕が「あわ文化」の調べ学習を通して学んだことは, 徳島の気候, 気温などがあったからこそできた地形が関係していることや藍商人や地元の人々が支えてきたことです。自然を大切にしていきたいです。

・自分が調べたことと他のあわ文化ををてらし合わせるとさまざまな共通点を見つけることができました。例えば, 徳島の人々の思いや守ってきた, 自然のおかげ, 発展してきたなどです。それぞれの班で話している文化やその歴史は違うけれど, 発展したり, 受け継がれたりしているのは人々の思いや自然環境があるからだ発表を通して分かったし, これがなければ発展や受け継いでこれなかったなと思いました。

・板東俘虜収容所と他の7つのあわ文化を見たときに共通点があったし, 他のテーマ同士にも同じ共通点がありました。特に人々のつながりや自然環境が共通していました。私は徳島の人たちは心が広く, 優しい人が多いのかなと思いました。なぜなら, 人々と交流するのならどんな人にも優しく心が広い方がいいと思うし, 天然記念物を守るには優しくしないといけないからです。

・発表を聞いているときや意見を共有しているときにいろいろな共通点が出てきました。その中でもどれにも当てはまっているのものは, 「人」からはじまっていることだと思いました。徳島の人々が作りあげ, それを次の世代に受け継ぐことにより, 今まであるのではないのかと一番感じました。次は体験してみたいと思いました。そしてより多くの人に徳島のよさを知ってほしいと思いました。

・共通点がなさそうなテーマでも考えてみるとたくさんあってびっくりしました。どのテーマでも地域の人の支えなどで根付いていたので, 支えられるが大切だと思いました。支えられたり守られたりするのにも理由があると思いました。例えば, めずらしい地形を利用していたり, いろいろな人が楽しめたりするので, 支える人がいるんだと思います。また, 時代の変化とともに形がかわっていったものもあるので多様化も大切なことだと思いました。